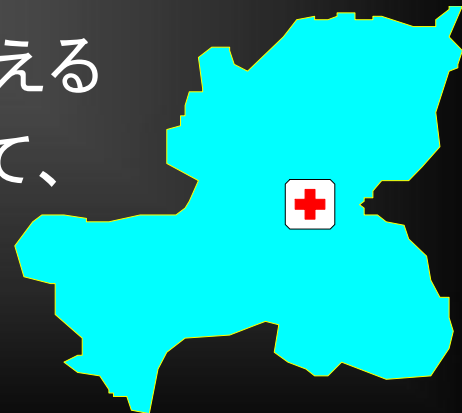


岐阜県立下呂温泉病院へようこそ

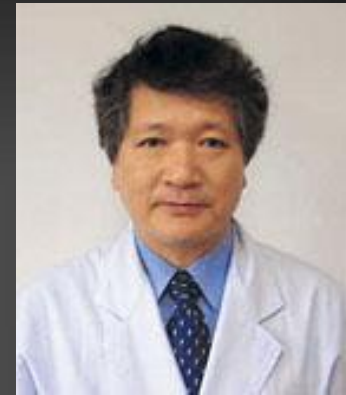


南飛騨・東濃北部等の約1500km²の診療圏を支える地域中核病院です。地域医療のモデル病院として、TV番組などでも紹介されました。現在3名の研修医が活躍しています。



研修の理念

「医療は地域とともにあり」をモットーに、地域に貢献できる医師の育成を目指します。病む人の心が分かる医師、そして高い医療レベルを習得し地域をリードする医師の育成をめざした研修を行います。



山森積雄理事長

研修の特徴

当院の特徴は地域中核病院・へき地支援病院であることにより、地域との結びつきが強い病院です。また病床数206床を有する急性期病院でもあり、特殊な治療以外は全て行っています。研修期間において、地域医療の精神(医師としてのあり方)とプライマリーケアを中心とした医療技術を同時に学ぶことができます。

当院の概要

所在地：岐阜県下呂市森2211

病床数：206床、（急性期病棟104床、回復期病棟26床
地域包括ケア病棟76床）

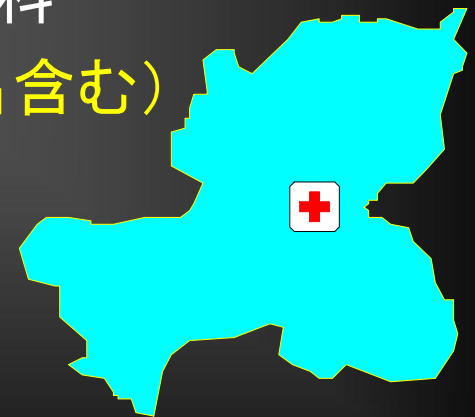
診療科：内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科
脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科
腎臓内科、歯科口腔外科、病理診断科

常勤医師数：23名（うち歯科2名、研修医3名含む）

1日当たり平均外来患者数：約351名

平成29年度の手術件数：616件

平成29年度の救急車搬送件数：1216件



岐阜県立下呂温泉病院の診療圏

当院の診療圏（面積1125km²、人口約4.5万人）

下呂市＋中津川市加子母・付知町＋加茂郡東白川村
＋加茂郡白川町の一部＋郡上市和良町・明宝町の
一部（面積約1500km²、人口約6万人）

診療圏内の医療機関

岐阜県立下呂温泉病院(206床 このうち急性期104床)

圏内唯一の2次救急医療機関

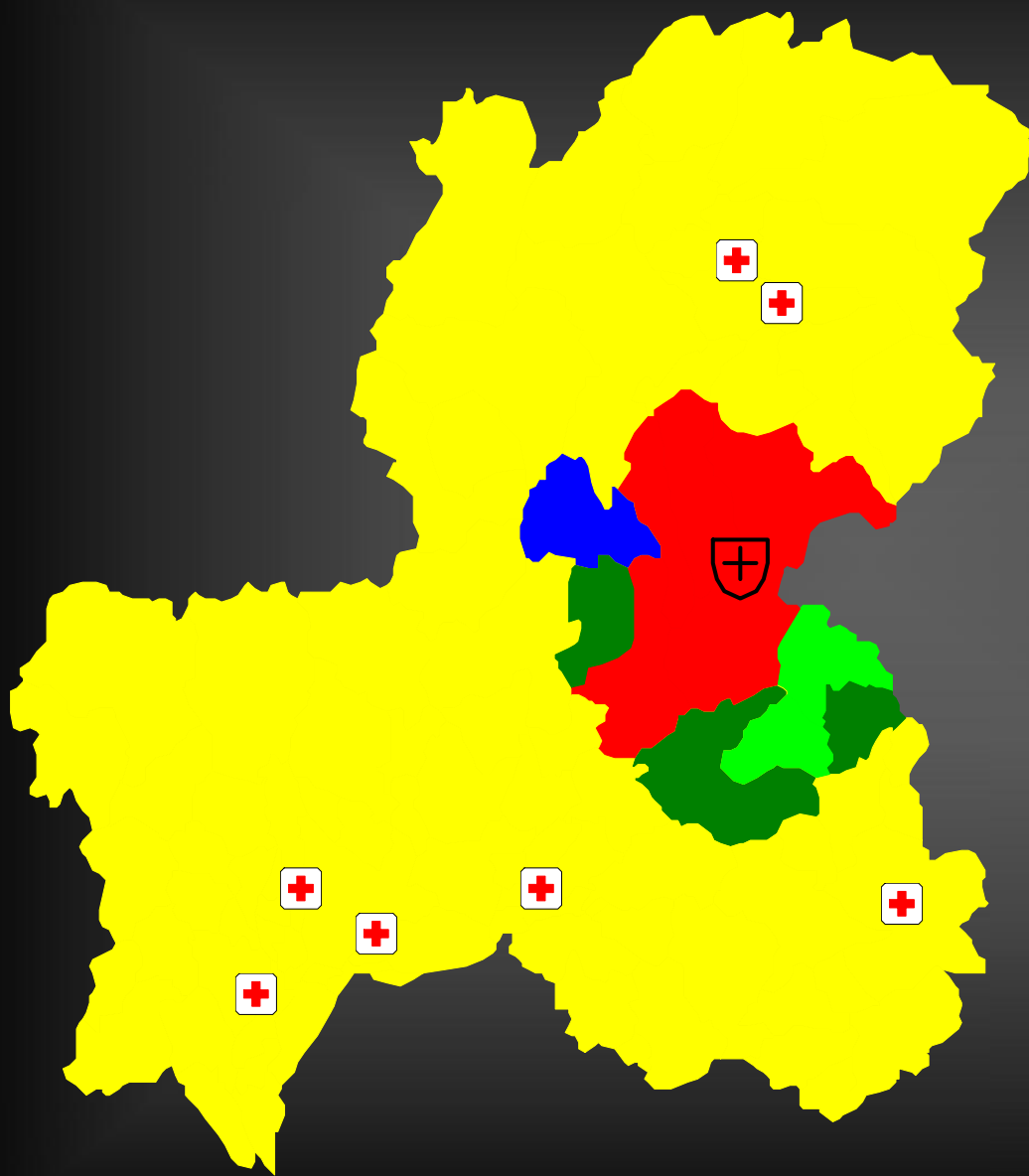
下呂市立金山病院(99床 このうち急性期50床)

医師8名 内科・外科・小児科・歯科

無床診療所(公立診療所3＋個人医院21)

24診療所(内科系が約3/4)

岐阜県立下呂温泉病院の診療圏



- 下呂市**
 - 全救急搬送
 - 一部救急搬送
 - 外来受診患者が多い
 - + **主な関連病院**
- } 岐阜県の面積の1/10
人口約4万

関連病院までの距離

- 高山赤十字病院: 49km
- 高山久美愛病院 : 53km
- 岐阜総合医療センター: 94km
- 岐阜大学附属病院: 103km
- 岐阜ハートセンター: 102km

岐阜県立下呂温泉病院の医療圏の特徴

1. 医療圏が大変広い。

岐阜県の総面積の約15%

2. 周囲に高速道路網がなく、近隣の中核病院が遠い。

(時間的距離が大きい！)

ここ近年、県内で最も陸の孤島になりつつある地域。

3. 高齢者人口が多い。独居老人・老夫婦世帯も多い。

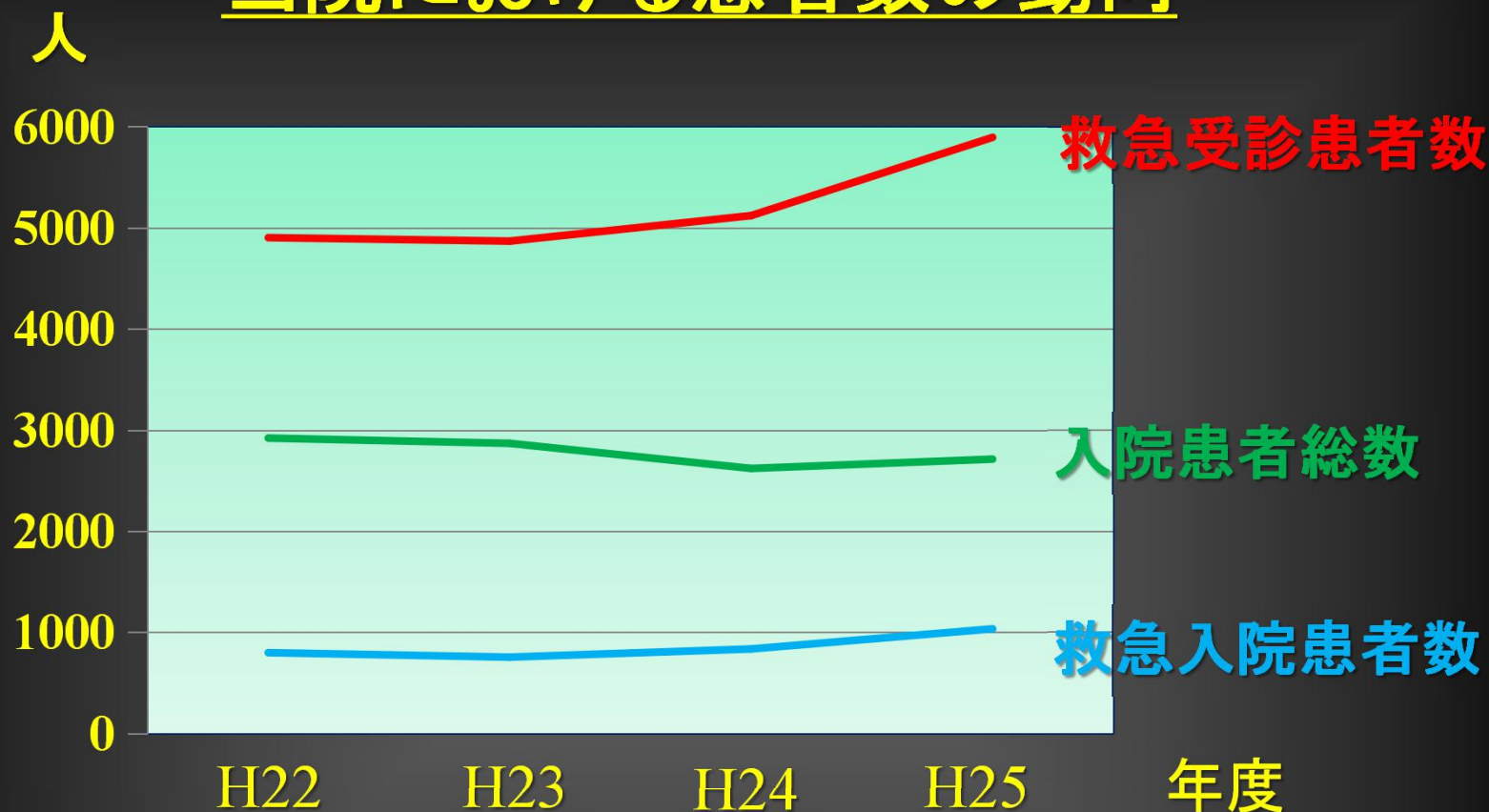
高齢者人口割合 37.4% (岐阜県平均27.9%)

老人世帯割合 27.7% (岐阜県平均22.0%)

4. 地域住民以外に、観光客の救急需要が高い。(10%)

下呂温泉の年間観光客数 229万人 (2015)

当院における患者数の動向



※救急患者:救急車での搬送患者及び時間外・休日受診患者
しかし救急受診患者数はその後減少傾向

H26 5388名→H27 5011名→H28 4933名→H29 4846名

最大の要因は医師会運営の休日診療所の活用が大幅に増加

臨床研修医募集要項

募集定員	2名	研修期間	2年間
応募方法	公募（マッチングプログラム参加）		
選考方法	面接、書類審査		
給 与	702,630円		
	賞与 2回／年		
宿 舎	医師官舎（単身用／世帯用）あり		
そ の 他	包括医師賠償責任保険に病院で加入済		

当院における臨床研修プログラム(モデルプラン)

1年目

内科6ヶ月

救急3ヶ月

①3か月

2年目

②12か月

地域医療1ヶ月は必須で、2年目(②)に研修する。

①~②の15カ月の間に外科、小児科※、産婦人科、麻酔科、精神科※のうち2つを必須選択する。(1診療科1か月以上)

その他、将来専門とする科を中心に希望科を選択する。

(脳神経外科・整形外科などを選択するほか、内科などの再履修も可能です。)

当院での初期研修の特徴(1)

病院の規模が初期研修に最適。

(大きすぎない！ 家庭的な雰囲気)

👉 診療科間の垣根が低く、他科に診療が

またがる場合にも連携が取りやすい。

(科間でお互いに助け合っています。)



1人の患者を受け持っても、複数科の研修が同時に可能です。

☞ 症例が多すぎて追い込まれてしまい、結果的に個々の症例が中途半端になる心配がありません。



個々の症例に対して、じっくり取り組むことができます。

☞ 診療科が細分化されておらず、極端に専門化した研修になることはありません。



プライマリー・ケアを身につけるのに最適です。

※基本的な診療手技は2年間で十分習得可能！

当院での初期研修の特徴(2)

・地域中核病院であり、救急・急性期医療からリハビリ、予防医学、在宅療養支援までの、一貫した診療を行っています。

☞ 診療圏内唯一の総合病院であるため、
救急搬送の受け入れ率は95%以上です。



都市部の病院にしばしば見られるような、
受け入れ患者の選別は起こりえません。
あらゆる状態の患者が無条件で搬送されます。



幅広い救急対応技術を習得できます。

☞ 患者さんの置かれた環境や地域社会を考慮した全人的医療の姿勢を身につけます。

(地域医療の基本姿勢を初期研修で修得します。)

☞ 地元医師会や救命救急士、ケアマネジャー等との連携が日常診療の間で密接に行われている。



研修医であっても、種々の勉強会や検討会を通じて、より身近に積極的に関わる事が可能です。

(病診連携の重要性・在宅介護支援を理解し、限られたマンパワーの中で、円滑なチーム医療を実践します。)